

オロイーシ

野津原(のつはる)方言集
続編14 / 6ページ

そん影じけつくしゃオロイーシハ閨取引
タバコ 酒米 何かが町んしの着物と交換し
よった。

(その影で、結構根性の悪い人は閨取引、タバコ、酒、米、等を町の人の着物と交換していた。)

コメント: はじめにオロイーシという言葉を見たときにあまりマイナスのイメージを感じ取れなかったが、実際には根性の悪い人という意味であることを知り、この言葉の響きと実際の意味とのギャップに魅力を感じ取ることができると考えた。

またオロオロするというオノマトペもこのオロイーシとつながりがあるのではないかと考えた。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
中本学

ヨダキイ

野津原(のつはる)方言集
前編/2ページ

突然先生から手紙をいただき『ふるさと野津原の方言調査を実施しよう』ということでした。ヨダキイナーと一度は思いました。

ヨダキイ 大儀/量がたくさんあって面倒だ

コメント: 取り上げたきっかけ
自分も使ったことのある方言であったため目についたから。
小中学生はすぐにネガティブな言葉を覚えるので、何か彼らに目の付く形で見せるといいと思います。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
八重垣太佑

ツマランゴタル

野津原(のつはる)方言集
続編15 / 70ページ



『今日は早く帰りよ 元気な顔見タキもう安心したわい』ツマランゴタル娘デンこれが世渡り上手ん
コツ鍵かん知れんこち 娘もえーときつき知恵も湧いたごたる。

(『今日は早く帰りなさい 元気な顔も見たから安心したよ』役に立たない(ダメな)様子の娘でもこれが世渡り上手になる為のカギかも知れないことと 娘もやっと気づき知恵も湧いたようである。)

コメント:

友達や話し相手が自分・周りの人の話を聞いてない時や退屈そうにしてる時、無気力な時をイメージすると分かりやすい。
大分県では「意気地なし・無益」等、他にも意味を持つ。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
A2011058 長野愛加

野津原方言と文化の継承を考える。

最近では、SNSがとても普及しているのでInstagramやTwitter等を利用してネットに掲載し色々な人に「こんな方言があるんだなあ」と知ってもらうのはどうでしょうか？

元々ある漫画は標準語で出来ているので、標準語を野津原方言に変えてみるのもどうでしょうか？

例えば、『進撃の巨人』で大阪弁のがあり、ドラえもんの名台詞・名言等を野津原方言にしてみるなど。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
2年 中本学
2年 長野愛加
2年 八重垣太佑
2年 木村駿

ヒョカット

野津原(のつはる)方言集
続編13 / 1,2ページ

『リヤマア フンナ起コシメエ』鬼はグッスリ寝ち **ヒョカット**目が覚めたんが 晩がたじやった。

(『あれまあ それなら起こさないようにしよう』鬼はグッスリ寝て、**不意に**目が覚めたのが夜だった。)

コメント:あまりゴリ押し気味なアピールでも大概辟易とされてしまいそうなので、自然な状況でキャラに使わせるなどが無難な気がします。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
増田 翔

ヒョイトスリヤ

野津原(のつはる)方言集
続編15 / 8ページ

ヒョイトスリヤ神か仏ん化身かん 知れんが宇曾ん風にや人ん道う教えたいもんが 入っちゃったんかんえ。

ひよっとすると〈ひよっとしたら〉神か仏の化身かもしれないが、宇曾の風には人の道を教えたいものが入ってたかもねえ。

コメント:
「ひよいとすりゃ」は「ひよいとすれば」の「れば」が「れあ」になって、「りゃー」に変わったかもしれない。「ひよいら」が突然という意味もある。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
大波多佑治

プアー



野津原(のつはる)方言集
後編 / 90ページ

ニツケーをかうち食いよる子 風船ぬ
ふくらませちろう放すと **プアー**ち 飛んじしぼむ。

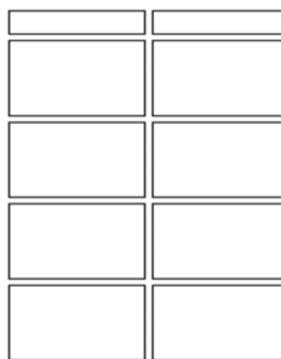
(肉桂を買って食べている子が風船を膨らませていて口から放すと**ふわっ**と飛んでいってしぼんでしまった。)

「プアー」は短い言葉なのでとても使いやすいと思う。発音する音もかわいいので、使われるようになれば若い人を中心に流行ると思う。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
桑原 早太

野津原方言と文化 の継承を考える。

野津原方言が実際に使われているシーンを四コマ漫画や絵本にしたり、アニメのセリフを野津原方言に替えたパロディアニメを作ることができれば、子供にも興味を持ってもらえるし、分かりやすく理解してもらえるのではないか思う。



別府大学 文学部 国際言語・文化学科
2年 増田翔
2年 大波多佑治
2年 桑原早太

ビラビラ

野津原(のつはる)方言集
続編13 / 81ページ



半分じ昭和初期頃は宇曾山参りに子どもは5銭もらちやいいほう。帰りん土産を買うにあれこれみながらビラビラと。

昭和初期頃は宇曾山参りに子どもは5銭をもらえればいいほう。帰りの土産を買うにあれこれ見ながらぶらぶらとゆっくりと歩く。

「ビラビラ」は「ヒラヒラ」の昔の言い方、野津原ならではの言い方なのかと思っていたけど、「ぶらぶら歩く」といった意味で使うそう。



別府大学 文学部 国際言語・文化学科
甲斐麻奈未

へにゃへにゃ



野津原(のつはる)方言集
続編13 / 17ページ



気合が抜きち そきーへにゃへにゃ座りくうだ。

気合いが抜けてそこに体の力が抜けたまま座わりこんだ。

「へにゃへにゃ」は人にも物にも使える単語なので面白いと思う。特に体に力がない時によく使う単語だけど、年を取って使う時とお酒を飲みすぎてへにゃへにゃする時に使えるよ～。単語を使える範囲は広いよ～。



別府大学 文学部 国際言語・文化学科
ヤングツキ

ギチギチ

野津原(のつはる)方言集
続編14 / 39ページ

葛ん根を掘りあげち白じつく 水じ曝すと澱粉が取るが こん乾かしたぬ餅にすりゃ 誠ちウメーもんじゃつた。そりやあギチギチした食感 手間取るだけあっち 貴重な餅が出来あがる。

葛の根を掘り上げて白をつく水をさらすとでんぷんが取れるが乾かした餅にすれば誠においしいものだった。それは粘り気のある食感で手間がかかるだけあって貴重な餅が出来上がる。

コメント:

みんながおもっているような中身がつまっている様子の意味ではなく、粘り気が強いことを意味しています。

別府大学 文学部 国際言語・文化学科
長野匠馬

野津原方言と文化の継承を考える。

・絵本を作ったり、読み聞かせたりする

- ・小さい子供に理解してもらいやすい
- ・若い世代に広まることにより、残していきやすい



・野津原をウォーキングするイベントを開催する

- ・野津原の方々と一緒に野津原をウォーキングして、コミュニケーションをとる中で方言に触れる。
- ・野津原の方々から話しながら、方言を学べる。



別府大学 文学部 国際言語・文化学科
3年 ヤングツキ
2年 甲斐麻奈未
2年 長野匠馬